

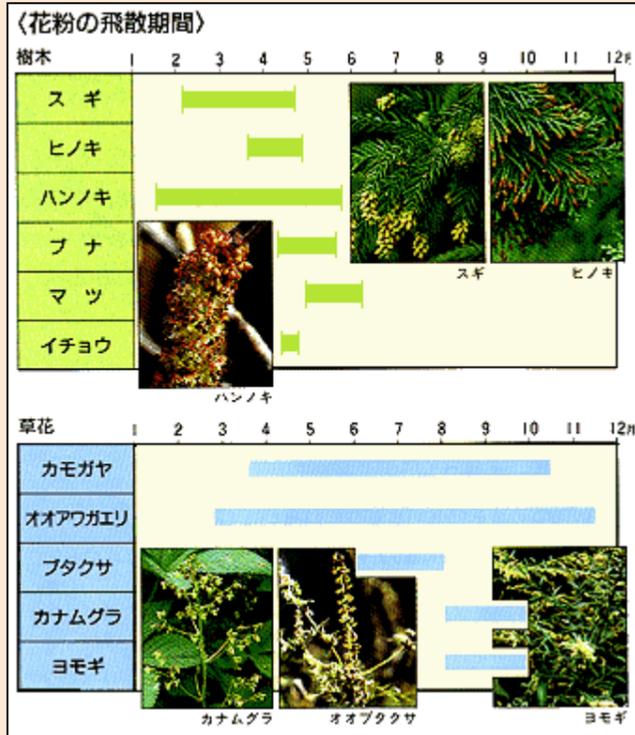
花粉症のはなし

花粉症の患者数は年々急増し、今や全国で2,000万人と推定されます。
原因となる花粉としては、春先のスギ花粉が全体の80%を占めているといわれています。

花粉症はアレルギー反応によって起こります。
その主役は花粉（アレルゲン）と抗体です。

花粉が目や鼻の粘膜に接触することでアレルギー症状が現れます。痒いので擦ったり、かいたりするとさらに悪化し、結膜や角膜を傷つけ、目がゴロゴロしたり、かすんだり、まぶしく感じたり、痛みが出たりします。

花粉症の原因となる植物は約60種類といわれますが、風によって運ばれるという共通点があります。日本は南北に細長く、土地によって花粉症の原因植物は異なり、花粉の飛散時期が異なります。また、同じ植物でも北と南の地方では飛散時期が異なります。



〈花粉を寄せ付けない生活のための10か条〉

1. 衣類は、ポリエステルなどの花粉が付着しにくい物を着ましょう！
2. バックの素材は、ビニール製など花粉が付着しにくく、落としやすい物を使用しましょう！
3. 帽子やマフラーを着用しましょう！
4. 飛散量の多い時間帯（12時～18時）に注意をし、特に13時～15時の外出は控えましょう！
5. 花粉飛散前からマスクで予防しましょう！吸い込む花粉量を1/6～1/3に減らせます。
6. メガネを着用しましょう！花粉症防止用ゴーグルにするのも効果的です。
7. 帰宅したらすぐにうがいと洗顔をしましょう！
8. 洗濯は午前中に済ませましょう！
9. 空気清浄機は加湿機能付を使いましょう！
10. 十分な睡眠をとって、疲労やストレスをためないように注意しましょう！

花粉症の症状が出たら悪化しないように、医師の指示に従って点眼、点鼻、または内服をしましょう。
根気よく治療を続けると、次第にアレルゲンに反応しにくくなり、症状が軽くなっていきます。
医師の指示に従ってきちんと治療を受けることが大切です。

参天製薬資料より引用



診療科目：内科・神経内科・リハビリテーション科
〒880-0853 宮崎県中西町160番地
TEL 0985-23-5000 FAX 0985-23-5886
http://www.jiei.jp e-mail info@jiei.jp

編集委員
江藤裕子 高瀬祐枝
竹迫彩 富永亜津妙
横山恵美子 黒木咲野
清泰蔵 砂地優宏
黒松和子 角畑エイ子
中野麻美 平賀絹代
東洋一



まごころ

第12号

2012年
慈英病院
広報誌

〈理念〉
真心込めた医療を提供し、皆様に愛される病院を目指します
〈基本方針〉
患者の尊厳を守り、権利を尊重し、患者第一の医療を行う
一人ひとりの患者に対して、科学的根拠に基づき良質な医療を提供する
高い倫理観に基づく品格ある医療を提供する
〈目標〉
医療の安全、安心、満足を約束する
一人ひとりの願いを叶える

医師紹介

嶋田陽一先生 こんな先生です！ 職員が紹介します！

花嫁募集中！ 随時受付中！
連絡は当院までお願いします。
先生、お幸せになって…！
職員の願い…です。

新しい取り組みに、いつも賛同してくだ
さいます。質の高い医療を目指し
て…みんなでファイト！

データから患者さんの内側をしっかりと診る事ができる先生です。

お気持ちの温かい先生です。患者
さん、ご家族を大事にされます。

慎重さと大胆さを持ち、患者さんを
診てくださる先生です。

毎週火曜日の褥瘡回診では、妥
協しない切除、細やかな洗浄は感
動ものです。



私達が出来なかった巻き爪の爪切
りを丁寧に行って頂き、「ありがとう」
先生！ カルテを見ると几帳面な
性格だろうと思います。小さな字で
事細かに書かれています。

医療相談員紹介



医療相談員 新名香織

3月より当院で医療相談員の職につくことになりました、新名香織と申します。
前職は、有料老人ホームのデイサービスで生活相談員として勤めておりました。
デイサービスの窓口としての連絡・調整や苦情処理等だけではなく、利用者様
と一緒に手作りをしたり、苺の苗を植えて収穫したり、温泉に行ったりと
様々なレクリエーションを企画して楽しんでおりました。
病院に勤務する事が初めてなので不慣れな事もあり、いろいろと皆様にご迷惑
をおかけするかもしれません。しかし、やる気は充分にあります！
今後も、病気や障害に伴う経済的・社会的・心理的な問題について、全ての職
種で連携を取りながら患者様、ご家族様と一緒に考え、不安や心配事を少しでも
良い方向へと支援していけるよう、頑張りたいと思います。
よろしくお願い致します。

第4回家族教室開催

ご家族の方に病院で行っている治療について理解していただき、その治療の目的や効果、またその方法について知ってもらうことは、今後ご自宅に退院された時にも役に立つとの思いから、今回は「家族にもできるリハビリテーション」をテーマに行いました。

理学療法士の黒松和子が講師となり、肩・肘・手首・股関節・ひざ・足関節の可動域の訓練について説明しました。

まずは実際の動かし方の説明を聞いてから、スライドでデモンストレーションの動画を見ました。

次にモデルさんに登場してもらい習った事を試してみました。



今後の家族教室は、医療保険や介護保険の制度に関する事や脱水予防、認知症ケア、口腔ケアなど医療や介護技術に関する事などを取り上げる予定です。
是非ご参加ください。

お花見

病院から一步外に出ると春でした。毎年、桜の花が私達のために咲いてくれています。

入院中ではありますが、春を感じて頂きたい。4月2日から5月17日の間に一日数名ずつ合計100名の患者様が、ほんの少しだけですが春を感じていただきました。

この笑顔に「ありがとう」 後田川緑道公園にて



食べる喜び

近年、重症の患者様が増えている現状です。その中で経管栄養の患者様が50%を超えるようになっています。私達は、スプーン一杯でも飲み込むことが出来て、美味しいと感じて頂く。お一人おひとりの可能性を見出す努力をしています。可能性があれば、唾液腺マッサージ、口腔周囲筋の運動、嚥下体操、口腔・鼻腔ケアその後スプーン一杯から食べる練習をしています。ご紹介させていただきます

経管栄養から一食でも経口摂取できるようになった患者様 【平成22年4月1日～平成24年4月30日】

性別	年齢	摂取状況	摂取までに要した期間
女性	82	昼食のみ 三食にすると本人の疲労度増強する	1年5ヶ月
男性	85	三食	1年9ヶ月
女性	90	三食	3ヶ月
男性	48	三食	1年6ヶ月
女性	77	三食	2ヶ月
女性	95	昼食のみ 三食にするとカロリー及び水分量の不足を生じる	1年6ヶ月
女性	80	三食	1年
女性	58	三食	6ヶ月
男性	80	三食	1.5ヶ月